

月刊 都響
September 2022



気を付けてね！ ホールでの過ごし方

- 携帯電話や音が鳴るモノは電源を切りましょう。
- 演奏中は話さないで静かに聴きましょう！
周りの人も演奏を楽しみに来ています。
- 録音・録画、写真撮影は禁止です。

2022
9/23

Promenade Concert

プロムナードコンサート No.398

会場：サントリーホール

指揮／小泉和裕

ベートーヴェン：交響曲第6番 へ長調 op.68 《田園》 (36分)

レスピーギ：交響詩《ローマの噴水》 (17分)

レスピーギ：交響詩《ローマの松》 (21分)

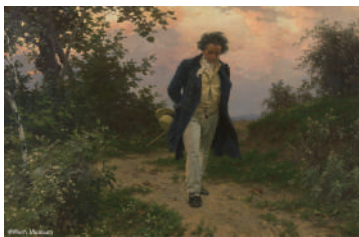
東京都交響楽団

PROGRAM NOTES

今日のコンサートでは、緑豊かな自然や、爽やかな水のある風景が、まるで目の前に浮かんでくるようなオーケストラの響きをお楽しみいただきます。音楽の都ウィーンで名を馳せたベートーヴェン、そしてイタリアの歴史ある街ローマを愛したレスピーギという二人の作品が演奏されます。

ベートーヴェン：交響曲第6番 ヘ長調 op.68 《田園》

作曲者のルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770～1827）は散歩が大好きで、毎日作曲の仕事を終えたあとは、散歩の時間を楽しんでいました。とくに心も体も調子を崩した時は、馬車に乗って都会のウィーンから少し離れ、緑あふれるハイリゲンシュタットを訪れました。木々の間の小道を歩きながら、小川のせせらぎや鳥のさえずりに囲まれていると、



田舎道を散歩するベートーヴェンの肖像画

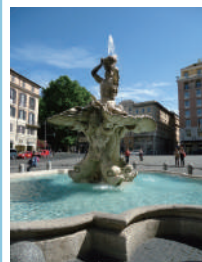
ベートーヴェンの心は落ち着きを取り戻し、自然への感謝の気持ちに満たされたのです。交響曲第6番《田園》は、そんなベートーヴェンの自然への思いが表されています。

曲は5つの楽章でできています。第3～5楽章は続けて演奏されます。

第1楽章「田舎に着いたときの愉快的気分のめざまめ」では、うきうきするようなリズムが特徴的です。**第2楽章「小川のほとりの情景」**では、ナイチンゲール、うずら、かっこうといった鳥の鳴き声が聞こえます。**第3楽章「田舎の人々の楽しい集い」**は、人々が軽やかに踊っている音楽です。**第4楽章「雷鳴、嵐」**ではティンパニや低音の弦楽器が迫力ある音で雷雨を描きます。**第5楽章「牧人の歌。嵐の後の喜ばしい感謝の気持ち」**は、穏やかで輝くようなメロディーが登場します。

レスピーギ：交響詩《ローマの噴水》

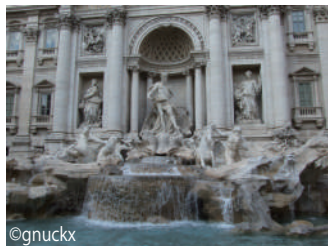
オットリーノ・レスピーギ（1879～1936）はイタリアの作曲家です。イタリアといえば昔から歌やオペラが盛んでしたが、レスピーギは歌のない器楽曲や華やかなオーケストラ作品をイタリアで発展させることに貢献しました。とくにローマの街の美しさや歴史にインスピレーションを得た《ローマの噴水》《ローマの松》《ローマの祭り》は、「ローマ三部作」と呼ばれる傑作です。



トリトーネの噴水

《ローマの噴水》は、ローマにある4つの噴水の情景を、夜明けから夕べまでの4つの時間帯に分けて描きます。

第1部「夜明けのジュリアの谷の噴水」は、柔らかな光の中で浮かび上がる噴水の情景です。のどかで幻想的なメロディーが聞こえます。**第2部「朝のトリトーネの噴水」**は、輝く朝日を浴びて、噴水に彫刻された海神トリトンと水の精ナイアスが生き生きと



©gnuckx

トレヴィの噴水

踊る様子が描かれます。第3部「昼のトレヴィの噴水」は勇ましい音楽です。海神ネプチューンの馬車が力強く走っていきます。第4部「黄昏のメディチ家の噴水」では、メディチ荘の噴水がゆっくりと夕闇に消えていく景色を描きます。この4部は続けて演奏されます。

レスピーギ：交響詩《ローマの松》

ローマの街を見守るように立ち続ける4か所の松の木。「ボルゲーゼ荘の松」「カタコンベ付近の松」「ジャンニコロの松」「アッピア街道の松」のたたずむ情景や歴史的なワンシーンを表現しているのが《ローマの松》です。こちらも4部からなり、続けて演奏されます。

第1部「ボルゲーゼ荘の松」は、公園の松の木の周りで子どもたちが踊ったり兵隊ごっこをしている様子を伝えます。第2部「カタコンベ付近の松」は、地下の古いお墓に集う人々が歌う聖歌が厳かに聞こえます。舞台裏で奏でられるトランペットの音色に注目してみましょう。第3部「ジャンニコロの松」は満月の夜に浮かび上がる情景をクラリネットが美しいメロディーで歌います。後半にはナイチンゲールの鳴き声が響き渡ります。第4部「アッピア街道の松」は、古代ローマの兵隊たちが行進する様子です。金管楽器と打楽器とが盛大に盛り上げ、クライマックスへと向かいます。



©Notafly

ボルゲーゼ公園の松並木



アッピア街道の遺跡と松並木

文／飯田有抄（クラシック音楽ファシリテーター）

指揮 小泉和裕



©Rikimaru HOTTA

東京芸術大学指揮科卒業後、ベルリンのホッホシュレ（現、ベルリン芸術大学）に入学。1973年夏、ボストンのタングルウッド音楽祭に参加し研鑽を積む。1973年、第3回カラヤン国際指揮者コンクールに第1位入賞し、ベルリン・フィルを指揮してベルリン・デビューを飾った。その後もヨーロッパ、アメリカ、カナダなどで精力的に活動を行い、国内のオーケストラとも多数共演している。現在、東京都交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団音楽監督、名古屋フィルハーモニー交響楽団音楽監督、神奈川フィルハーモニー管弦楽団特別客演指揮者を務めている。

オーケストラ配置図（9月23日 プロムナードコンサートNo.398）

演奏する曲によって使わない楽器もあります。
どの曲にどの楽器が使われているかにも注目してね。

大太鼓・シンバル・
トライアングル・グロッケン
チャイム・タンブリン
タムタム・ガラガラ
鳥の声

ティンパニ

パイプオルガン

トランペット

トロンボーン

チューバ

バンダ (Banda)
トランペット

ホルン

クラリネット

ファゴット

バンダ (Banda)
トロンボーン

フルート

オーボエ

チェレスタ

ピアノ

ハープ

第一ヴァイオリン ★
第二ヴァイオリン
チェロ
ヴィオラ
コントラバス

指揮者
★コンサートマスター

※楽器の配置は一例です。当日のステージで確認してください。
バンダはオーケストラの本編成から離れた位置で演奏する別働隊のこと。舞台上・舞台裏・客席などで演奏します。

TMSO
東京都交響楽団



東京オリンピックの記念事業として
1965年に東京都が設立しました。
都響（ときょう）という愛称で親しま
れています。

上野の東京文化会館を本拠地として、サントリーホールや東京芸術
劇場などで定期的にオーケストラの演奏会を開催しています。その他、
交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』など
ゲーム音楽の演奏や、都内の小中学生を対象に開催している音楽鑑賞教室、
病院や福祉施設への出張演奏など多彩な活動に取り組んでいます。

2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、
「オリンピック賛歌」の演奏（大野和士指揮／録音）を務めました。